

平成27年度 上越市保健体育部 活動報告

部長 國元 清光

1 研究主題

主体的に考え、運動に進んで取り組む児童生徒の育成

2 研究の概要

小学校部会と中学校部会それぞれで、11月の一斉研修（授業公開）に向けて指導案検討等の準備を進めた。小学校部会では上越教育大学大学院 周東和好教授から、中学校部会では上越市教育委員会学校教育課 石黒和仁指導主事から指導をいただいた。

3 研究の実際

(1) 小学校部会の公開授業

ア 単元名：第2学年マットを使った運動遊び
～さくらっ子ランドで遊ぼう～

イ 授業者：春日小学校 阿部泰尚教諭、金子鮎美教諭
ウ 公開授業時の指導



これまでの学習で身に付けた運動遊びを楽しんだり、新しいやり方を見付けたりして、マットを使った運動遊びを楽しむことができることをねらいとした。「転がる」「回る」「逆さ」といった様々な場を設定し、児童が自由に楽しめるようにした。また、グループ活動により、励まし合ったり支え合ったりして技能の向上を図った。授業後半では、グループで新しい遊び方を考えさせるようにし、運動しながら試行錯誤させた。

(2) 中学校部会の公開授業

ア 単元名：第3学年器械運動
イ 授業者：潮陵中学校 小林 洋教諭
ウ 公開授業時の指導

マット運動において、技の段階表から仲間の技の段階が分かり、様子を伝えることができることをねらいとした。単元の前半では生徒の学び合いの質を高めるために、各種目の技を高めるためのポイントを確認し合う時間とし、後半は自分に適した種目と技を選択して練習し、発表する課題解決学習とした。



4 成果と課題

小学校部会では、大勢の児童が自分のめあてに向かって主体的に動いていた。いろいろな運動遊びをとおして「運動感覚」が身に付いていたので、主体的な学習ができた。運動遊びの場を多く設定したことで、安全面への配慮等で課題が明らかになった。

中学校部会では、県中教研指定の1年目で、「FT を効果的に活用した課題設定」をテーマとして取組を進めることができた。事前に協力校の春日中学校でもプレ授業を行い、協力体制を整備することができた。指定研究2年目に向けては、身体活動の場と話合いの場を区切らずに、身体活動の中に学び合いがある流れで進め、途切れずに学びが展開されるように構想していくことが課題である。